

北は小坂町、南は湯沢市まで秋田県の元気な集落の情報満載!!

# 元気ムラ通信 14号

元気ムラ通信は秋田県活力ある集落づくり支援室が運営する「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト(通称:元気ムラ応援サイト)」で紹介している地域活動を、より多くの皆様に参考にしていただくために発行しております。 ●発行日:平成29年4月1日

あきた元気ムラ  
応援サイトは

元気ムラ で検索

- Twitterアカウント→@akitagenkimura
- facebook→「あきた元気ムラ」



元気ムラサイトを  
携帯電話・スマート  
フォンで見たい方は  
←こちらから!

大館市

しゃかない  
釈迦内  
地域



ひまわりを活用した「サンフラワープロジェクト」で多彩な活動を行っています。

北秋田市

うらた  
浦田  
地域



ねぶ流し、奉納相撲、万灯火など、古からの伝統行事を受け継いでいます。

能代市

うめない  
梅内  
地域



女性たちでつくる「梅内山菜倶楽部」が首都圏に山菜出荷を始めました!

能代市

ひやま  
檜山  
地域



檜山城址、檜山納豆、檜山茶といった地域資源を活かしたイベントを開催中!

能代市

ひがしのしろ  
東能代  
地域



24の自治会で「東能代まちづくり協議会」を作り、地域活動を行っています。

三種町

うちいかわ  
内鯉川  
地域



「子供みこしまつり」の復活や防災訓練を企画するなど共助の取組が活発です。

男鹿市

あんせんじ  
安全寺  
地域



地域内の田園で「美田の里オーナー」(田植え体験など)を行っています!

湯沢市

よこぼり  
横堀  
地域



「おしら様の枝垂れ桜」の保存や、仮装盆踊り大会を70年以上継続しています。

新たに8地域が  
元気ムラ応援サイトに登場!  
新地域を紹介!

元気ムラ応援サイトに登録されている地域は、今回、新たに公開した8地域を加えて、平成29年4月1日現在、「80地域」になりました。

お知らせ

元気ムラ支援室の場所が変わります。

平成29年4月1日から、活力ある集落づくり支援室(愛称:元気ムラ支援室)は「あきた未来創造部」の所属になります。

今までの本庁2階から  
5階になります。



# アンケート結果を「報告」します。

## 元気ムラ活動の“満足度”に関する

### ●アンケートの目的

平成21年に始まった元気ムラ活動も8年が経過し、地域の皆様の活動がどのように変化したかを知ることで、秋田県と地域と一緒に頑張っていくヒントを見つけるために実施しました。

### ●実施期間と対象者

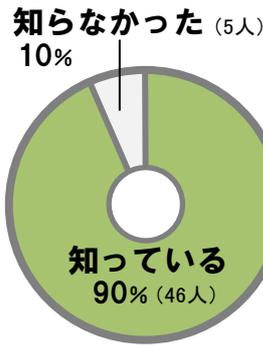
平成28年10月の1ヶ月間、元気ムラ応援サイトに登録された72地域の自治会長・任意団体代表ら(79人)に調査表を送付し、53名(男52名、女1名)から回答いただきました。

回答率  
64.6%

### アンケート内容

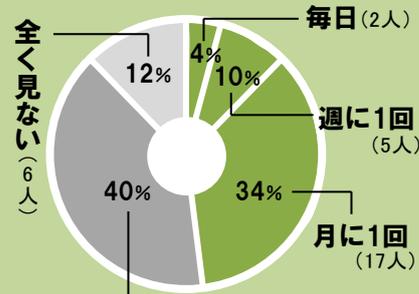
- ①サイトの閲覧状況 ②事業の満足度 ③地域の活性化状況  
④地域が求める支援 ⑤元気ムラ活動の意義

## 1 「元気ムラ応援サイト」に登録されていることを知っていますか？



「サイトを知らなかった」と答えたのは5人。登録した時の窓口(自治会長など)の方が交代しているケースが多く見られました。

### 「知っている」と答えた方への質問 サイトをどのくらいの頻度で閲覧していますか？



自分たちの地域が掲載された時、又は、掲載内容が変わった時 (20人)

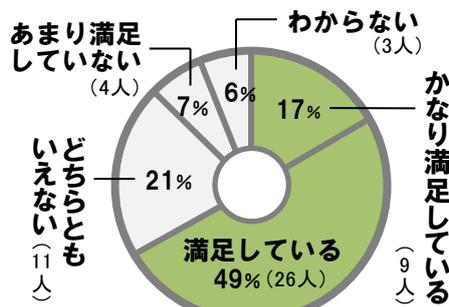
「全く見ない」と答えた方の理由は  
●パソコンがない  
●ネットをしていない  
●サイトの見方が分からない  
●操作できない  
...などでした。

元気ムラ応援サイトを  
見てどう思いますか？

「自分たちの集落が登録されている事に誇りを感じる」  
「他地域の頑張っている活動は勉強になる」など。

## 2 元気ムラの事業(※)に参加して地域全体を見た場合、満足していますか？

※県・市町村・地域とで実施した事業  
(大交流会の参加など 下記一覧参照)



満足している方

「(GBビジネスの)山菜出荷などに取り組んでいる人たちに活力がでてきた」

どちらともいえない方

「住民の関心が薄い」

あまり満足していない方

「町内会単位だとお楽しみ行事等で盛り上げられるが、地域単位で全体を盛りあげようとすると無理が生じてくる」

活動することで活性化につながると感じている地域が多い一方、住民の関心を高めることに悩んでいる地域も見られました。

## 元気ムラ活動とは

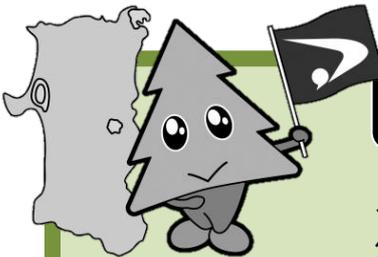
人口減少や少子高齢化等を背景に、住民個々が対話と課題解決を重ねながら地域の将来づくりにチャレンジする、住民主体性、課題解決性の強いコミュニティ活動です。

### ※県・市町村・地域と行ってきた主な事業

- 元気ムラ応援サイト登録
- 元気ムラ大交流会の参加
- GBビジネスの参加
- 集落点検等の実施
- お互いさまスーパーの開設
- 里山の恵みプロモーション事業の参加
- その他(ミニチャレンジ事業など)

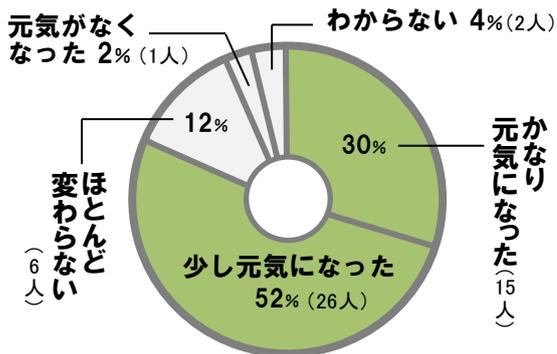
平成21年～  
28年の期間

活動内容は住民同士の絆づくり、収益事業、伝統行事の復活、除雪や買い物支援など多種多様です。



3

### 県の元気ムラ支援室と活動して、地域は活動を始める前より元気になりましたか？



元気がなくなったという方

「今まで地域行事に参加しなかった人が出てくるようになった」

「話し合いの場が増え、地域内のコミュニケーションがとれるようになった。特に女性の活躍がめざましい」

ほとんど変わらないという方

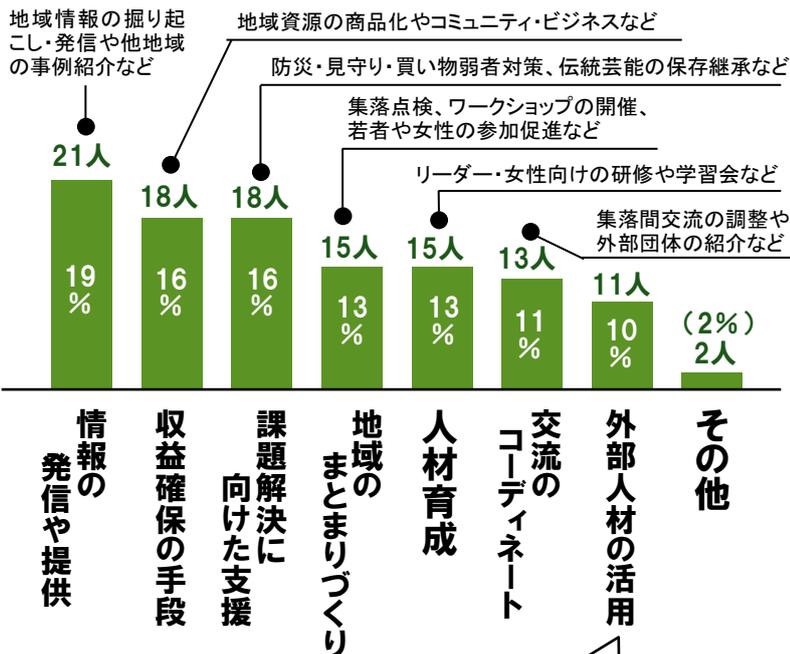
「大交流会などに有志で参加しようとしているが、部落全体の取組はかなりの温度差がある」

元気がなくなつたという方

「参加する若者がいない」

4

### 県の元気ムラ支援室に手伝ってもらいたいことは何ですか？ (複数回答)



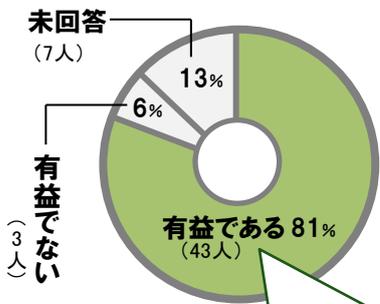
●その他の内容

- ・手続き関係、法人についてなど
- ・秋田大学、県立大学の専門家の協力で地域おこし
- ・地域おこし協力隊に参加していただき、アドバイスをいただきながら継続できる活動内容の工夫など

地域おこし協力隊や地域振興アドバイザーなど

5

### 元気ムラ活動は有益ですか？



#### 分析結果

自分たちの地域活動を情報発信し、他地域の活動を知る手段として「有益である」と感じており、活動を紹介されることで「より一層頑張ろう」と動機付けが図られている他、他地域との「交流」も活動の実践につながっているようです。

「有益でない」と回答した地域の理由としては、地域が想定していた事業や目的と、元気ムラ支援室で進める事業との間に隔たりがあることが考えられます。

### 地域で困っていることは何ですか？

- 人手がなく行事を行うのが大変
- 若者が仕事の関係で地域行事に無関心、呼びかけてもこない
- リーダーや後継者が育たない
- 地域行事の予算収入源が少ない

#### 分析結果

行事を行うための「**人手不足**」を上げる方が多く見られました。地域全体の住民の参加が少なく、中でも「**若者・女性**」が少ない。地域運営を担うリーダーとなる「**人材**」がおらず、行事の「**資金不足**」も課題となっており、地域や行事を存続していけるか「**不安**」を感じていることが分かりました。

### 地域を元気にするには何が必要ですか？

- 無理のない事業計画
- 地域の老人パワーの活用
- 若者の参加
- リーダー(後継者)の育成
- コミュニケーションをとる
- 老若男女が参加できるイベント
- 個々が活躍できる場の創出
- 地域や人々の良さを見直す
- 外部人材の活用

#### 分析結果

「**コミュニケーション**」や「**地域全体の参加**」を上げる方が多く、住民の個人的な活動が増えた社会において、地域コミュニティの人間関係の構築が課題となっていることが分かります。住民の意識改革や「ふるさとを思う誇り」の醸成を図ることが地域を元気にするために必要になってきているようです。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今回の結果を元に、今後の元気ムラ活動の支援に反映させていきたいと思っております。

# 声

元気な地域の  
想いを発信！



## 地域からのメッセージ Vol.13



由利本荘市

なかひたね  
中直根町内会の皆さん

オの神で  
餅を焼く子供  
たち

平成29年1月8日（日）、鳥海山の麓・標高250mの位置にある直根環境改善センターの前に、稲藁を積み上げて作った高さ5m近くある「オの神」が出来ていました。子供の成長を願いながら年男年女がオの神に火をつける中直根に伝わる小正月行事で、オの神で焼いた餅を食べると1年風邪をひかないと言われています。

中直根町内会は昨年から由利本荘市薬師堂の「あすみ団地」の親子会を招き、小正月行事と一緒に、煉瓦づくりの「ピザ窯」で焼いた手作りピザの味を楽しんでもらっています。中直根の皆さんのオススメは味噌をベースにした納豆ピザ♪「中直根にこなきゃ、この味は味わえねえど」と太鼓判を押す自慢の味で



↑稲藁で作ったオの神

春になると採れたての山菜もトッピングして利用者の好評を得ています。

2つの地域の交流のきっかけは、団地在住の市職員が中直根のピザ窯を親子会に紹介したことでした。

### 都市部と山間部の人々の出会い

薬師堂から中直根までは、本荘から矢島まで列車で40分、その後、車で20分移動すると到着します。同じ市内でも都市部と山間部の住民が交流する機会は少なく、参加した女性は「オの神焼きのような行事は市街地にはない」。農村で当たり前に行われている小正月行事が、都市部の人にとっては珍しい貴重な行事になるようです。

センターには昨年、オの神に参加した子供たちの感想文が掲示されていました。中直根町内会の佐藤博栄会長は「地域の子供も少なくなり、何もしなければオの神も大人たちだけで焼くの見守るだけ。子供たちが遊びにくるのを楽しみにしている住民も多い。お互いにかまえることなく自然と付き合っていければ」と話します。

オの神の火が燃え尽きるとお楽しみの親睦会がスタート。「すまし餅」や「吹きどり餅」などの手作りの料理を子供から大人まで老若男女がほおぼりながら、賑やかに会話が飛び交っていました。



※2017年1月8日に取材した内容を掲載しました。

お知らせ

2017年の元気ムラ大交流会の開催日と場所が決定しました。

- 開催日：2017年9月2日（土）
- 会場：男鹿市民文化会館（住所：男鹿市船川港船川海岸通り二号14-2）

今年は  
男鹿市  
で開催します！

「地域からのメッセージ」に掲載する地域を募集中！

元気ムラ通信の「地域からのメッセージ」に地域活動を紹介してみませんか？（※）自分で原稿を書きたい方、取材にきて欲しい方、どちらでもOK！下記の元気ムラ支援室までご連絡を♪

※元気ムラ応援サイト登録地域が対象

元気ムラ支援室は「住民主体」の地域づくり活動（元気ムラ活動）を支援しています。

- 地域づくり活動事例の出前講座
- GB(じっちゃん・ぱっちゃん)ビジネスの支援
- 集落間交流のコーディネート など。お気軽にご相談ください。

こんな活動をしています♪

お問い合わせ

●発行／秋田県 活力ある集落づくり支援室(元気ムラ支援室)

●住所／〒010-8570 秋田県秋田市山王4丁目1-1

●電話／018-860-1215 ●FAX／018-860-3875 ●E-mail katsu@pref.akita.lg.jp